

遊歩道の”安全な通行のあり方” 暫定運用説明会

KEY WORD #遊歩道(自転車歩行者専用道路) #レンガ坂



これまでの流れ

遊歩道の通行のあり方については、1月の意見交換を踏まえて、3月15日から21日の期間で通行に関する社会実験(路面表示、アンケート調査、通行データ解析等)を行いました。



開催日時 2024年11月9日(土)

場所 中央図書館 活動室1

募集人数 上限30名→申込6名(参加4名)

参加方法 専用フォームで申込み

内容 遊歩道の通行のあり方に関する検討について、これまでの経過や3月社会実験の結果概要、暫定運用について説明し、参加者と質疑応答を行いました。

当日のタイムスケジュール

- 10時 開会
- 10時5分～ 経過と今後の暫定運用について
- 10時20分～ 質疑応答
- 11時45分 閉会

当日出た主な意見

- これまでの社会実験は、いきなり始まったような印象があり、今後は更なる周知をお願いしたい。
- レンガ坂全体が歩行者優先であることを強調し、自転車への注意喚起をしていただきたい。
- 自転車の通行位置を中央へ誘導することの是非
今後の暫定運用は、安易に取りやめるべきではないというご意見と、他の選択肢も試すべきというご意見の両方ございました。

いただいたご意見について(回答)

自転車を中央寄りの走行とすることについては、レンガ坂を横断する動線を考慮したもので、左右の出入りから距離を確保することが安全と考えます。また、全域が歩行者優先(中央から歩行者を排除する意図はない)ことをご説明しました。

暫定運用は当面の間実施し、定着した場合は本格運用へ移行することを目標としております。暫定運用では通行に支障がある場合や、周辺の土地利用が変化した場合は改めて検討いたします。

この他、改修工事の経緯に関するご意見等がございました。